

政務活動一覧

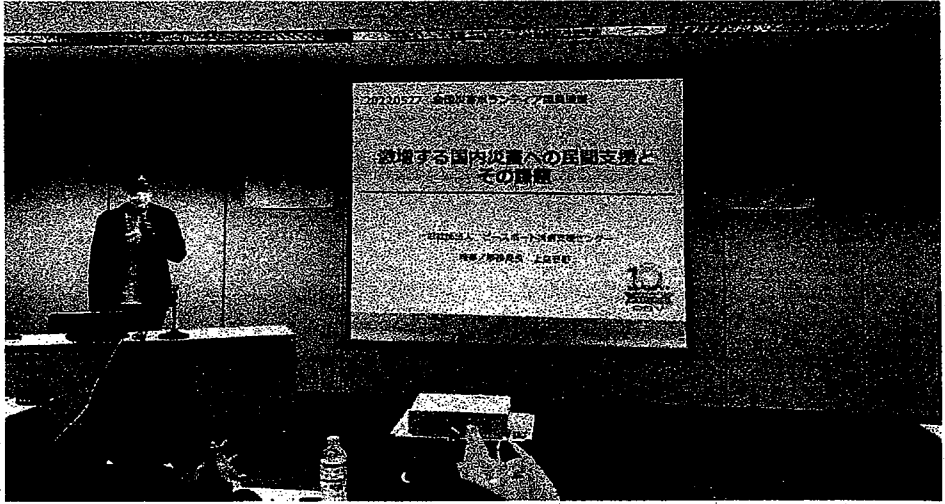
議員名：坂野 経三郎

年月日	活動先			政務活動の内容	関連領収書 番号
	住所	活動先の名称	対応者		
令和4年 5月27日	東京都千代田 区平河町 2-7- 4 砂防会館別 館	全国災害ボラン ティア議員連盟 研修会	一般社団法人 ピースボート 災害支援セン ター上島安裕 事務局長	「激増する国内災害へ の民間支援とその課 題」というタイトルに よる講演会を拝聴す る。	5-1
令和4年 9月14日	北海道石狩市 花川北 6 条 1 丁目 30 番地 2	石狩市役所他	石狩市役所環 境市民部・時崎 宗男課長、角井 貴博主任 企画経済部企 業連携推進課・ 天野良祐主事	石狩市での再生可能エネ ルギーの活用が先進的 であるということであり、 その取り組みを研究する こと目的とする。	9-3, 9-4, 9-5
令和4年 10月 8日, 9日	鹿児島県霧島 市牧園町	第12回全国和 牛能力共進会鹿 児島大会	第12回全国 和牛能力共進 会鹿児島大会 参加関係者	第12回全国和牛能力共 進会が鹿児島県で開催さ れるということになり、 鳥取県の畜産業の発展を 考える会（伊藤保会長） の議員と一緒に鹿 児島へ向かい、鳥取県関 係者の尽力を激励すると 共に、現状を把握するこ と。	10-1, 10- 6, 10-7

- ・ 交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・ 県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。


活動報告（県外・国外）

議員名：坂野 経三郎

活動事項	全国災害ボランティア議員連盟
活動年月日	令和4年5月27日 11:00～16:00
場所	東京都千代田区平河町2丁目7-4 砂防会館別館
活動の相手方	一般社団法人ピースボート災害支援センター上島安裕事務局長
活動の目的	コロナ禍が長引いているが、コロナ禍だからと言って、災害は待ってくれない。コロナ禍によって、災害ボランティアの数が減っているという現状がある中、如何にして災害で苦しむ方をサポートし、迅速な災害復旧ができるのかについて考えを深めるため参加した。
活動の内容	コロナ禍が長引き、三年ぶりの総会の開催となった。午前中に総会を行い、今年度の方針を確認した。午後からは、一般社団法人ピースボート災害支援センター上島安裕事務局長による「激増する国内災害への民間支援とその課題」というタイトルによる講演会が開かれ、意見交換を行った。終了後の意見交換では、全国から集まった国会議員や地方議員から数多くの意見が出た。国会議員からは、消防団手当を非課税とするように制度改正したことが報告された。
活動の結果等	<p>災害VCとボランティア団体との連携協働が不十分であり、横串を刺していくことの必要性が示された。ここに個人ボランティアに如何に協力を仰ぐかということが必要である。コロナ禍で個人ボランティアは47%減少したというデータが出ている。連携協働を更に進めて、効率的な災害復旧を目指していかなくてはならない。また、被災市町村を国と県と連携してサポートしていくことが必要であり、県内のサポート体制の点検を今後進めていくこととしたい。</p> 
関連領収書番号	5-1


活動報告 (県外)

議員名：坂野 経三郎

活動事項	石狩市におけるゼロカーボンシティの取り組み視察
活動年月日	令和4年9月14日
場所	北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2 石狩市役所他
活動の相手方	石狩市役所環境市民部・時崎宗男課長、角井貴博主任 企画経済部企業連携推進課・天野良祐主事
活動の目的	昨今、電気代の高騰が止まらない。県民からも悲鳴の声が届いている。そこで、電力の自給自足の取り組みを進めていく必要があると考える。石狩市での再生可能エネルギーの活用が先進的であるということであり、その取り組みを研究すること目的とする。
活動の内容	市役所において、先駆的な取り組みを拝聴し、その後現地視察をした。太陽光発電、洋上風力発電、バイオマス発電などのありとあらゆる再生可能エネルギー発電所を整備し、発電された電力を活用して、再生可能エネルギーだけを使って産業活動を行う「REゾーン」を整備していることは非常に興味深い内容であった。二酸化炭素の排出を抑えて、2030年にはゼロカーボンを目指すという長期計画には力強い決意を感じ、鳥取県でも大いに参考にしたいと考える。
活動の結果等	<p>非常に注目すべき取り組みであり、一般質問の中でも、石狩市の取り組みは紹介させて頂いた。REゾーンの開発はこれから進むものであり、今後の推移にも注目していきたい。北海道のように広大な土地がある場所だからこそ、思い切って大きな取り組みを進めることができるという点も指摘できるが、鳥取県内においても再生可能エネルギーをさらに進めていき、持続可能な循環型社会を作っていくことは必要不可欠である。そのような視点をもって、これからも議会活動に取り組んでいきたいと考える。</p> 
関連領収書番号	9-3, 9-4, 9-5

活動報告(県外)

議員名：坂野 経三郎

活動事項	第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会
活動年月日	令和4年10月8日,9日
場所	鹿児島県霧島市牧園町
活動の相手方	第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会参加関係者
活動の目的	第12回全国和牛能力共進会が鹿児島県で開催されるということになり、鳥取県の畜産業の発展を考える会(伊藤保会長)の議員と一緒に鹿児島へ向かい、鳥取県関係者の尽力を激励すると共に、現状を把握することを目的とする。
活動の内容	鳥取県の畜産業の発展を考える会(伊藤保会長)の議員と共に、会場内をまわり、鳥取県の牛舎において大会に向けてしっかりと状態を整えてきた牛を視察させて頂いた。また、宮崎団長をはじめとする選手団と意見交換をし、大会を迎えるまでの苦労話なども拝聴した。会場も視察させて頂き、私のような素人には、はっきりと優劣をつけることは難しいと感じたが、鳥取県の牛は、他県の牛に比べて遜色なく、非常に良い状態に仕上がっていると感じた。
活動の結果等	<p>次回の全国和牛能力共進会は、2027年に開催される第13回北海道大会となるが、その大会には好成績を残せるように、鳥取県として取り組んでいく必要がある。鳥取和牛ブランドは全国にしっかりと勝負できる内容であると確信しているし、実際に全国の中でも評価される結果を得なければならないと考えている。今回見えてきた課題を一つ一つ解決に向けて取り組む必要があり、関係者の皆様をバックアップする体制を整備していく必要があり、今後に活かしていく。</p> 
関連領収書番号	10-1, 10-6, 10-7